

第449回鯖江市議会定例会 一般質問通告書

令和7年6月9日

順位	質問者	質問要旨
1	堀川秀樹	<p>1 使用済みリチウム電池内蔵小型家電の取扱いについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 今回のクリーンセンターの火災について、詳細は ② リチウム電池の特性と、これまでのリチウム電池内蔵小型家電の回収の取組はどのようなものか ③ 今後の対策と取組は <p>2 東部地区3小学校の連携事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① この取組に至った経緯は ② どのような内容の取組が行われているのか ③ 教員や児童の反応は ④ 今後どのように考えているのか <p>3 森林環境譲与税について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 森林環境譲与税とはどのようなものか ② 鯖江市の森林環境譲与税はどのように使われているのか ③ 森林環境譲与税を獣害対策にも活用できないか
2	酒井友季子	<p>1 災害対応について</p> <p>(1) 感震ブレーカー設置補助事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 半年の申請数は <p>(2) 「災害ケースマネジメント」の導入について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 制度導入の検討・準備について ② 福祉と防災の平常時からの情報連携や体制整備について ③ 災害支援の担い手育成について ④ 制度的整備を進めるべきと思うが所見は <p>2 「こども誰でも通園制度」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 「こども誰でも通園制度」とは ② 「すみずみ子育てサポート事業」との違いは何か ③ 導入に当たっての課題と需要の把握について ④ 特別な配慮が必要な子どもの受入れ体制は ⑤ 周知方法について <p>3 「市民の声」を政策形成に生かす仕組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 「ことひろ」のサイト開発に至った経緯 ② これまでの情報収集方法について ③ これまでの課題は ④ 今後の活用の可能性について

順位	質問者	質問要旨
3	加藤 優	<p>1 資源ごみの分別収集について</p> <p>① 鯖江クリーンセンターで5月9日、5月13日に火災が発生したが、過去にも火災が発生したことがあるのか</p> <p>② 資源物の分別収集の火災を防ぐ今までの対策とこれからの対策は</p> <p>③ 原因の一つがリチウムイオン電池の発火と考えると、その対策は</p> <p>④ 市民への周知強化の進め方は</p> <p>2 誰もが安心して搾乳ができる環境づくりについて</p> <p>① 環境づくりに取り組むべきと考えるが、市の所見は</p> <p>3 帯状疱疹ワクチン接種助成について</p> <p>① 4月から開始された帯状疱疹ワクチン接種助成の仕組みは</p> <p>② 進捗状況は</p> <p>③ 今後鯖江市で新たな帯状疱疹ワクチン接種助成を考えているか</p>
4	三村尚司	<p>1 児童センターの整備について</p> <p>① 児童センターの現状と利用状況について</p> <p>② 児童センターの安全管理について</p> <p>③ 今後の改修について</p> <p>2 市営住宅の現状について</p> <p>① 市営住宅の現状について</p> <p>② 今後の市営住宅の整備について</p> <p>③ 今後の市営住宅の在り方について</p> <p>3 神明地区公立認定こども園整備スケジュール等について</p> <p>① 整備・開園までの具体的なスケジュール</p> <p>② 安心安全な園庭の確保について</p> <p>③ 園庭の桜の木について</p>
5	江端一高	<p>1 地域の防災力向上について</p> <p>① 防災計画と総合防災訓練の位置づけについて</p> <p>② 情報伝達手段について</p> <p>ア 発災時の手段について</p> <p>イ 防災行政無線について</p> <p>③ 避難所運営について</p> <p>ア マニュアルについて</p> <p>イ トイレ運用について</p> <p>ウ 新たな視点について</p> <p>④ 個別避難計画について</p> <p>ア 進捗状況について</p> <p>イ 今年度の計画について</p> <p>ウ サポート体制について</p> <p>エ 取組の継続について</p> <p>オ 県のアドバイザー派遣事業について</p>

順位	質問者	質問要旨
5	江端一高	⑤ 市民の意識向上について ア 自主防災組織および防災協議会等の状況について イ 防災に関する補助メニューと実績について ウ 補助金以外の支援について エ 参加しやすい取組について
6	帰山明朗	1 戸籍への氏名の振り仮名記載への対応などについて ① 戸籍法の一部改正を含む「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律」の主旨。戸籍に振り仮名が振られることの意義や重要性について、そして今このとき、実施する要因は ② 現場で通知や届け出を取り扱う市の負担は大きいと考えるが、その影響は ③ 予算措置・実施体制について ④ 今後の作業工程について ⑤ 事業実施に当たって現時点で課題はあるか ⑥ 通知に記載するベースとなる振り仮名はどこから参照するのか ⑦ 通知の振り仮名が違って、その修正を届け出るときは ⑧ 今後、お子さんが出生されるなど新たに戸籍が作られることになる方について、氏名に付されることになる振り仮名の読み方は、いわゆる「キラキラネーム」こと当世風の難読な読み方についても一定の方向性が示されたようだが具体的にどうなるのか。読み方としてのおおよその基準はどのようなものか ⑨ 窓口で届け出された読み方が一般的なものか、審査基準に該当するかどうか等を判断すると思うが、基準と照らし合わせて、判然としない場合など、判別が容易でないケースはどうするのか ⑩ 市民に対する制度変更の細やかな周知・広報・フォローが重要だが
7	林下豊彦	1 「町内会」について ① 町内会とは ② 町内会の役割は ③ 鯖江市や各種団体との関わりは ④ これからの町内会の在り方について 2 「つつじまつり」について ① 今年つつじまつりの総括について ② シャトルバスの問題について ③ 再発防止の考え方は 3 「資源物回収」について ① 資源物回収の現状は ② その現状の評価は ③ 今後の取組は

順位	質問者	質問要旨
8	西野有香	<p>1 魅力ある里山整備と青少年交流シンボルエリア化について</p> <p>① 三床山の登山者用トイレ整備の進捗</p> <p>② 青年の家・三床山・かみおか園地の「青少年交流シンボルエリア」化と魅力ある環境整備</p> <p>2 SRHR(性と生殖に関する健康と権利)に基づく環境づくりについて</p> <p>① 本市におけるSRHRの取組について</p> <p>ア 本市におけるSRHRの考え方</p> <p>イ 第5次男女共同参画プランに関連した具体的な事業内容や課題</p> <p>ウ SRHRの視点を踏まえた施策展開や、学校現場との連携、体制整備の必要性と具体的な計画や方向性</p> <p>② 小中学校のトイレ個室への生理用品常設について</p> <p>ア モデル事業の結果と評価</p> <p>イ 全校展開に向けた具体的な検討</p> <p>3 認知症の家族介護者への支援強化について</p> <p>① 「ケアラーリフレッシュ支援制度」の導入</p> <p>② 「仕事と介護の両立支援窓口」の設置</p>
9	大門嘉和	<p>1 嚮陽会館複合交流施設整備について</p> <p>(1) 基本設計に見る諸課題について</p> <p>① 安全対策について</p> <p>② 屋上を展望デッキとする必要があるのか</p> <p>③ 瀬戸焼作家の陶壁画は残すべきではないか</p> <p>④ 施設使用料に対する見解は</p> <p>(2) 嚮陽会館の空調について</p> <p>① ZEB ready化工事とは具体的に</p> <p>② 年間の空調費の試算は</p> <p>2 ゼロカーボンシティ宣言と温暖化対策について</p> <p>(1) ゼロカーボンシティ宣言後の取組</p> <p>① 具体的な取組と成果</p> <p>② 目標値達成のためのロードマップと進捗状況は</p> <p>(2) 中学校、小学校体育館への空調設備導入について</p> <p>① 中学校体育館空調設備の使用電力量と費用の概算</p> <p>② 小学校体育館空調設備導入の課題について</p> <p>(3) 市としての対応は</p> <p>① ますます増大する電力使用量に対する市の対応策は</p> <p>② 目標達成に対する市の見解は</p>

順位	質問者	質問要旨
10	木村愛子	<p>1 「食」について</p> <p>(1) 米づくり等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 市民生活の上で、お米は足りているのか。そもそも専業農家からの出荷米で足りるのか、現状は ② 備蓄米が市場に出回ると、農家への影響は ③ 親元就農支援や後継者確保の事業の現状と今後は <p>(2) 地産地消の推進について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 道の駅の提案と合わせ、園芸作物に力を入れることを提案したが、道の駅西山公園の現状は ② 地場産野菜の即売場の充実やPRなどの支援が必要と思うが、所見を <p>(3) 「食育」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 地場産食材を使用した副食を補正予算、この案件の背景と学校給食畑等の現状と今後は。また、保育所、こども園等は、市で予算化。地産地消の現状と食育活動は ② 「食育」活動において、食生活改善推進委員会等と連携も必要と思うが、所見を ③ 部活動地域移行のアンケートで、文化部で料理クラブを希望する生徒が多い。ぜひ、対応を検討してほしいが、所見を <p>(4) 交流による農村の活力づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 生ごみを燃やさず有機堆肥にして家庭菜園に取り組み、学校給食の支援野菜を提供するグループもある。畑、土のある暮らし、野菜づくりに取り組む人を増やし、集合菜園のようなものが市内に点在し、農村の活力になると思う、所見を ② 県が修学旅行生の農村体験や農家民泊に力を入れているが、旅行者やものづくりのまちに滞在型の食メニューなど農村の魅力を伝えられる中山間地の活性化もあるのではないかと。また、シティプロモーションに鯖江らしい「食」もありと思う。所見を <p>(5) 「食」のある居場所づくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ① フードドライブに力を入れているが、「食」のある子どもの居場所づくりについての考え方、施策は <p>(6) 農業・林業・農村ビジョン、生きるための食、多様な食・食文化として伴走できる施策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 気候変動に左右されての農産物、産業としての農林業も農村を維持存続、生きるための「食」のビジョンであると思う。多様な食・食文化として伴走できる鯖江であってほしい、所見を <p>2 令和7年度デジタル田園都市構想総合戦略推進に係る施策方針</p> <p>(1) 指定管理制度の見直しについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 指定管理施設の事業、人件費の官民格差など問題になっている。事業内容や在り方を検討するに当たり、導入から20年経過し、社会状況や価値観など大きく変化してきていて、公共施設の持つ目的から指定管理ありきではなく、総合的な視野、見地での見直しが必要では、所見を

順位	質問者	質問要旨
11	東井忠義	<p>1 公共的団体の選挙活動について</p> <p>(1) 市から運営補助等を受けている公共的団体の市長選挙における選挙活動について</p> <p>① 市長選挙における市区長会連合会の活動に対する法的解釈は</p> <p>② 町内や地域にはいろいろ政治信条を持った人がいる中で、公共的地域団体である町内会や地区区長会、市区長会連合会が選挙活動することは法的に問題がないのか。少なくとも道義的に問題があるのではないか</p> <p>③ 市が運営補助を行っている他の公共的団体に対しては、公正で明るい選挙を行うために、市長選挙に関与しないよう指導すべきと思うがいかがか</p> <p>2 街路樹について</p> <p>① 街路樹の役割と鯖江市、国および県における街路樹の整備方針は</p> <p>② 歩道における街路樹の根上がりが顕著な箇所はどれくらいあるか。その対策状況は</p> <p>③ 歩道における街路樹により狭隘となっている箇所の対策状況は</p> <p>④ 市道における街路樹の実態と維持管理と方針は</p> <p>3 特殊詐欺の実態と予防について</p> <p>① 特殊詐欺にはどのようなものがあるか</p> <p>② 特殊詐欺に関連する相談の現状は</p> <p>③ 特殊詐欺を含む消費者被害の予防法は</p> <p>④ 消費者被害に対する市の対策は</p>
12	田中良幸	<p>1 公民館の役割について</p> <p>① 公民館の役割というものを、市はどう考えているか</p> <p>② 災害発災時、どんな役割を担うのか</p> <p>③ 一方、社会教育活動の拠点としても、どんなことが期待されているのか</p> <p>④ 公民館が行政にとって、重要な拠点。では、休館日はどうなっているのか</p> <p>⑤ 日曜日の半分は閉まっているということになるのか</p> <p>⑥ 発災時の対応、社会教育活動拠点としての役目を果たせないのではないか</p> <p>⑦ 公民館の職員を強化して、常時開館するような体制は組めないのか</p> <p>2 区長会連合会の「結ネット」の有効活用について</p> <p>① 市では災害発災時、個人個人の安否確認はどんな方法で行うことになっているのか</p> <p>② その安否情報が各町内から寄せられた後、どのような作業をしていくのか、紙の表に書き込むのか</p>

順位	質問者	質問要旨
12	田中良幸	<p>③ 一人一人の、個人のアカウントがあれば、そのアカウントのチェックで安否が分かる仕組みがあれば迅速に作業が進むのではないか</p> <p>④ 今鯖江市で、個人個人にアカウントを振っている仕組みはあるのか</p> <p>⑤ 1月末に「さばえの未来に向けた特別委員会」の行政視察で岡山県奈義町に行った。奈義町は人口5,700人余りだが、2019年の合計特殊出生率が2.95まで回復し、少子化対策の「奇跡のまち」として注目を集めている。 この町では、町民一人一人にアカウントを与え、アカウントごとにカードを発行し、そこに町内で使えるポイントを入れている。給付金などもポイント化されてそこに送られてくる。個人ごとのアカウントを非常にうまく使っている例だ。 鯖江市もそこまでは一気にできないだろうが、まずは個人一人にアカウントを振る作業を進めたらどうか。あれば、便利ではないのか</p> <p>⑥ 国のマイナンバーを使って、安否確認のような作業はできないのか</p> <p>⑦ 個人のアカウントという点では、区長会連合会が展開している「結ネット」は、戸別にIDを振っている。そこから枝番を使えば、赤ん坊までIDを振ることもできる。つまり、個人個人にアカウントを与えることができる。 しかも、この「結ネット」のいいところは安否確認機能があるところ。ただ、この「結ネット」の普及率が低い。いまだこまで来たか</p> <p>⑧ 「結ネット」は、そもそも区長会連合会が進めてきたプロジェクトではあるが、それを市の直轄事業にして引き取るのはどうか。市ではこれまで、区長のアカウント維持のためのランニングコストを負担してきた。ここはさらに一歩踏み込んで</p>
13	土田 光	<p>1 移住者獲得に向けての鯖江市の取組</p> <p>① 人口増加に向けた鯖江市の今後の取組</p> <p>② 周知、PR方法</p> <p>③ 移住者特設サイトについて</p> <p>2 ドローン協定について</p> <p>① 鯖江市でのドローン協定の内容と取組</p> <p>3 鯖江市の鳥獣被害についての対策</p> <p>① サルの被害についての認識</p> <p>② 今後のサルの対策</p> <p>③ 追い払いについて</p> <p>④ ニホンジカとイノシシの捕獲計画数の考え方とイノシシの捕獲計画数</p> <p>⑤ 捕獲計画達成に向けた手法、取組やくり罠について</p> <p>⑥ 捕獲の予算について</p> <p>⑦ 捕獲隊の予算について</p>